

◆キンクロハジロ



◆オナガガモ



◆ヒドリガモ



◆オカヨシガモ



◆ホシハジロ



◆マガモ



◆ハシビロガモ



◆カルガモ



◆コガモ



ため池は生き物たちの砦

環境保全活動紹介

松末小学校

おいしいそば 自分たちで育てたよ



松末小学校(校長:多田美智江 全校児童:31名)では、毎年地元石詰地区で収穫されたそばを使ったそば打ち体験を行っています。今回は初の試みとして、3・4年生8名がそばを種から育てる「そば栽培」にも挑戦しました。子ども達は、そば農家さんの協力を受けて、8月の種まきから11月の収穫まで、一生懸命そばを育てました。12月17日のそば打ち体験では、そばの実を石うすでひいてそばを打ち、お世話になったそば農家さんと一緒に、全校児童でおいしくそばを食べました。初めて自分たちで育てたそばを食べた3・4年生は、「去年より味が濃くておいしかった」「大変だったけど来年も育てたい」と話していました。



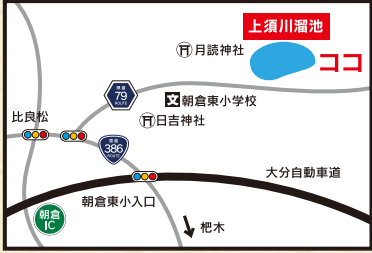
環境にやさしい料理に挑戦



環境アクション協議会が、前回に引き続き開催した「エコクッキング」。今回は、平成26年11月24日朝倉地域生涯学習センターで、通学合宿に参加した小学生25名が、環境にやさしい料理に挑戦しました。食材や電気・ガス・水が無駄なく有効に使うエコクッキングを通して、地球にやさしい暮らし方を学んだ子どもたちは、「たくさんの人の料理を作ったのに、ゴミが少なくてびっくりした」「料理にエコができるって知ってよかった」と話していました。



野菜は、よく洗えば皮のまま調理できるんだよ。



写真資料をご提供いただいた、飯田大和氏(朝倉生物研究会会長)に、お話をうかがいました。「上須川溜池は、カモが手に取るように観察しやすい場所です。カモの数や種類は、年によって、また日によって異なります。400羽を超えることも多く、700羽を確認したことも過去ありました。これまでに9種類のカモを確認しています。現在このため池は禁猟区になっているので、まさにカモたちの楽園です。市内及び周辺市町村のため池を観察してみると、メダカやタニシ、トンボなど絶滅のおそれがある生き物を確認できました。生き物にとって水は貴重なものであり、周辺の環境とともに水質も維持されたため池は、価値の高いものです。」

これまでに **9** 種類のカモを確認



■上須川溜池 全景
カモの観察ができるのは9月下旬から5月上旬頃まで。特に11月上旬から2月下旬にかけては、カモの種類も多く観察に適しています。

朝倉市には、山間部から平野部まで大小約108箇所のため池があります。ため池は、先人達が農業用水として苦勞して作り大切に守られてきました。魚や貝、昆虫など日本に由来からいた生物が生息するなど、人と生き物たちにとって命をつなぐ貴重な場所になっています。

